



『大切なものは目に見えない』

職員研修として、多摩川教会の末盛牧師より月に1回程度、子どもたちが寝ている午睡時間、13:30、14:00と2回に分けて30分礼拝の時間を持っています。今年のテーマは、『神の永遠に目を注ぐ一目には見えないもの』です。4/24(木)1回目を行い、牧師からの宣教では、「大切なものは目に見えない。心の中で見る。目に見えるものはなくなるが、見えないものはなくなるらない。目には見えないけれど、すべての人はありのまま神様から愛されている。」という話を聞きました。その後、職員たちと交わりの時をもち、「見えないものに目を注ぐのは難しい。」「目に見える結果を求めてしまう。」「愛されている実感はある?」「そういう風に少しずつ感じられるようになった。」「全く感じられない。」といった素直な思いを伝え合いました。礼拝の時間は、一方的に聞いて終わりではなく、それぞれがどう感じたのか伝え合い、否定せずお互いにありのままを受け入れていく時間としております。伝え合うことで新たな考えが生まれたり、新たな自分に気づいたりすることもあります。

礼拝の次の日の朝、3歳児クラスに行くと新入园児のAさんがちょうど登園してきたところでした。Aさんはお母さんと離れるのを嫌がり、お母さんも後ろ髪惹かれている様子でした。お母さんが行った後、Aさんは泣きながらもこちらの声は耳に届くようで、「お母さんがよかったね。悲しかったね。」と声を掛けると少し泣き声小さくなり、寄り添いながらいろいろと声を掛けていくと、少しして涙はとまりました。手にはコップ、帽子「コップ置きに行く?帽子かけに行く?」と声を掛けると視線がこちらの方を向き、私が先に帽子かけの方に向かって歩いていくと、ゆっくりゆっくり自分で歩いて帽子を掛けに向かいました。「次はコップだね。」の声掛けにさっきよりもスピードはアップし、コップを置くことができました。その後も、私が移動するとなんとなく後をついてくるので、距離を取り時々視線を合わせながら様子を見ていくと、自分からおもちゃを見つけあそびはじめたので、3歳クラスを後にしました。私がAさんとしつかり関わったのはその日が初めてでしたが、数分の関わりの中で、目には見えない何かAさんに伝わり、それをAさんが受け取ってくれ、Aさんと心を通わせることができたように思います。私たちは欲深く、目に見えるものをばかりを求めることがありますが、Aさんと心を通わせた時間は、私の心も何だか温かくなり、礼拝での「大切なものは目に見えない」という話を実感した出来事でした。

末盛牧師には職員礼拝の時間に来ていただいておりますが、今年は子どもたちの様子も見てもらえる機会をもてればと思っています。

記:園長 藤本 紘子

《今月のおすすめ紹介》



皆さんはお気に入りの歯ブラシはありますか。私はずっと、『ライオン デンターシステム』が好きで使用していましたが、最近、以前より気になっていた『奇跡の歯ブラシ』を使用して衝撃を受けました。歯垢のとれ具合が段違いで、今までの歯磨き時間の半分程度で終わってしまいます。電動歯ブラシをご使用の方も多いかもしれませんが、是非一度お試しください。私は新宿のハンズで購入しました。



[【公式】奇跡の歯ブラシ web shop](#)

